



ビワマス紙芝居完成! (9月29日)

米原市天野川ビワマス遡上プロジェクトの取り組みの一環で、ビワマス倶楽部が企画したビワマス紙芝居が完成し、息長小学校の5年生に披露されました。紙芝居は、児童文学者の今関信子さんが文を、一円重紀さんが絵を担当し作成。ビワマス倶楽部リーダーの中村さんは「紙芝居を通じて魚を好きになってほしい。そして、人間も自然の中では小さな存在だから、みんな仲良く暮らしていかないといけないことを頭の中に残しておいてほしい」と話しました。

熱心に聞き入っていた児童らは「ビワマスが戻ってくるような活動をしていることがわかってよかった」「ビワマスにもふるさとがあるのはいいと思った」「ビワマスの生態がよくわかった」と感想を話しました。

息長小学校では、2年前からビワマスふ化実験に取り組んでおり、児童らは今年も11月からふ化実験に取り組みます。



柏原小学校にアートがやってきた (10月1日)

切り絵作家として活躍する早川鉄兵さんが、柏原小学校5年生の図工の授業で作品づくりの指導をしました。これは、県の「美の滋賀」づくりの一環として若手芸術家が小学校の空き教室で創作活動や展示会の開催などを行うものです。

児童らは、子ども美術展に出品する立体作品を制作しており、米原の自然をテーマに伊吹山や琵琶湖にすむ生物を思い思いに切り絵で表現しました。最後の授業となるこの日は、早川さんに積極的に動物の切り方を聞くなど集中して作品に取り組みました。出来上がった作品は、児童らの独創性が光るものばかりです。子ども美術展は、山東B&G海洋センター体育館で11月1日から3日まで開催されます。



アジアパラ競技大会に出場の棚橋選手を激励 (10月6日)

韓国の仁川で18日から始まるインチョン2014アジアパラ競技大会に出場する棚橋ゆかりさんが米原庁舎を訪れ、市長と教育長が激励しました。棚橋さんは、座った姿勢で行うバレーボール「シッティングバレーボール」の日本代表選手として出場します。

小学校、中学校でバレーボールの経験がある棚橋さんは、中学3年生の時に骨肉種となり左足に人工関節を入れ、以前、講演で米原市を訪れた長浜市のシッティングバレーボール日本代表選手田中さんとの出会いがきっかけで昨年12月から競技を始めたそうです。「リオデジャネイロの大会出場をかけた大事な大会なので、チームで心をひとつにして、全力でプレーしたい」と笑顔で意気込みを語りました。担任をしている坂田小学校3年生の児童からももらった応援の手紙も励みになっているそうです。



編集・発行/米原市役所 広報秘書課
〒521-0801 滋賀県米原市下町三丁目3番地
TEL 0749-660607 / FAX 0749-660519
Eメール koho@city.maibara.lg.jp
公社ホームページ http://www.city.maibara.lg.jp/